

研究の概要

当院では2020年10月より緩和ケアチーム活動を行っており、1年間で28名の患者に介入してきた。その緩和ケアチームの活動内容、行った緩和ケアの内容と効果、包括的な症状評価ツールとしてのIPOS (Integrated Palliative care Outcome Scale) の使用経験とその効果、医療スタッフの字以内) 意識や患者への関わり方の変化、知識・技術の向上などを患者カルテに記載されている臨床情報から収集し評価、検討する。さらにがん患者の緩和ケアと神経難病患者の緩和ケアの差異、神経難病患者の特殊性などを検討する。

研究期間

承認日より 終了日は未定

研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院
院長 川並 透

研究責任者の氏名

診療部
診療部長 山川 達志

オプトアウト

本研究による情報に関し、利用・提供を希望しない場合には、当該申出ができる旨の関連文書を配付。